

5回目の質問、お昼のサイレン



月田 均



町長

復活は難しい

質問 お昼のサイレンの復活について、私が3回、その前にも他の議員が1回質問している。町からの回答は、就業形態、生活様式、権利意識の変化などで、うるさいと思う人が増え、復活は難しいというものだった。4回質問しても進展がなく、諦めるしかないと思っていた。

答弁 そのような中、昨年の末、消防署の周辺に住む夫婦からサイレンを復活してほしいとの要望を受けた。サイレンを聞くことで生活に張りが出る、励みになるという意見だった。住民の声を一つ一つ聞くことは大切なことだ。復活を検討してみてもどうか。

答弁 町長 サイレンが生活の張り、励みになると感じる方がいるというところは認識したが、委託先の伊勢崎市消防本部の運用方針により実施しているものであり、要望に応えることは難しい。

役場ロビーのデジタル表示パネルについて

質問 昨年末、役場ロビーにデジタル表示パネルが設置された。この表示パネル設置の経緯、目的等はどのようなものか。

答弁 町長 導入費用をかけることから設置した。設置の目的は、役場来庁者への情報のデジタル発信であり、画面サイズは55インチで、2台で1対となっている。1台を町の情報発信専用として、もう1台を企業や事業者の広告用として使用している。

質問 広告パネルが目立ち過ぎ、他のパンフレット、資料等がかすんでしまった。逆効果でないか。

答弁 企画課長 パネルの設置によりパンフレット等が見られなくなることはないと考えている。



役場庁舎内に設置されたデジタル表示パネル

質問 自治体内には同業他社も多く、配慮が必要だ。庁舎内での広告の掲示は慎重にすべきと思うが。

答弁 副町長 デジタルパネルで町の情報を流すことは、インパクトがあり、様々な事業所の情報を得ることもできる。しかし同業他社への影響と言われると、配慮も必要と感じた。

こんな質問もしています
・令和4年度施政方針について
・公文書管理について

保育所休園時の代替保育実施は



備前島久仁子



町長

慎重に判断していく

質問 コロナ感染に伴う保育所休園措置の判断基準及び代替保育の実施について問う。

答弁 町長 保育施設において陽性者が発生した場合、速やかに状況を確認し、全面休園や該当クラスのみの一部休園について様々な状況を調査した上で、保育施設及び嘱託医の意見を踏まえて決定している。一律に施設全体を休園とすることは保護者の方々の大きな負担



休園になった場合の代替保育を望む

「たまむらの未来を担う人づくり」とは何か

質問 施政方針の中にある「たまむらの未来を担う人づくり」とはどのようなものか。

答弁 町長 『まちづくりの基本は「人」であり、人づくりこそが「まちづくり」の礎となる』という思いから、子供達への投資は、まさに未来への投資であると思っている。

そのため、子育て世代の人づくりとして、「親が働きながら子供を安心して産み育てられる環境づくり」をはじめ、「給食費の一部免除」や「第2子保育料及び副食費の無償化」など経済的な支援を行っている。また、

キャッシュレス化推進への取組は

質問 1月と2月に実施したキャッシュレス化推進・消費喚起応援事業の成果と、行政のキャッシュレス化推進への取組は。

答弁 町長 キャンペーン実施前と比較して、au PAYでの決済利用者は5倍程度に伸びている。Pay Payについても、ポイント還元額が21日間実施で1100万円程度あり、多くの経済効果があったと認識している。
行政のキャッシュレス化については、昨年4月より町税の一部と上下水道使用料をスマートフォンから納付できるようにした。